



大六小だより

平成30年 7月20日

練馬区立大泉第六小学校

校長 西野 國子

7 月 臨時号

教育目標 すすんで学ぶ子 思いやりのある子 たくましい子

楽しい夏休みを

校長 西野 國子

明日から夏休みが始まります。子供たちには、夏休みにしかできない様々な経験をし、休みを思い切り楽しんでほしいと思います。さて、1学期を終えるにあたり、「あいさつ」「ありがとう」「お手伝い」「家庭学習」について子供たちに聞きました。

1学期 児童アンケート結果・・・「している」と答えた割合(%)

項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
すすんであいさつをしている	77	87	92	86	93	74	84
ありがとうを伝えている	87	94	84	69	96	69	82
決まったお手伝いをしている	71	70	66	58	72	56	65
学年×10分の家庭学習をしている	80	77	84	82	85	55	76

4月の保護者会でも、学校便りでもお伝えしましたが、是非子供たちに「決まったお手伝い」をさせてください。お手伝いをすると・・・

自己有用感を感じます・・・感謝されることで人の役に立つ嬉しさを感じ、自信がつきます。

段取り力が身に付きます・・・手順を考えて行うことで段取りができるようになります。

責任感が育ちます・・・家族の一員としての役割を果たすことで責任感が育ちます。

感謝する心が育ちます・・・物事を行う苦労が分かり、感謝できる人になります。

生活力が付きます・・・生活をする上での身の回りのことができるようになります。

先日の保護者会では、「決まったお手伝いをさせるのが大変」と言う声もありました。皆さんが小学生の時にしたお手伝いのことも話しながら、「お手伝いの楽しさ」も併せてお子さんに伝えてください。

「あいさつ」「ありがとう」「家庭学習」も習慣になれば素晴らしいです。よい習慣は一生の宝物です。

9月に子供たち全員の元気な笑顔に会えることを楽しみにしています。